

大会役員

大会会長 向井 正明 (交 野)

大会委員長 (大会レフェリー)

鈴木 将二 (登美丘)

大会副委員長 (アシスタントレフェリー)

遠藤 充建 (河 南)

大内 康弘 (泉 北)

奥田 訓之 (北かわち皐が丘)

下向 真治 (洪 谷)

直川 雅史 (高槻北)

大会委員 (会場レフェリー)

明石 秀夫 (箕面東)

犬伏 誠 (鶴見商業)

岩田 泰一 (池 田)

浦 尊博 (東住吉総合)

奥井 保亘 (城東工科)

奥井 みなみ (桜 宮)

加藤 裕美 (大 冠)

加藤 祐子 (北摂つばさ)

呉田 未来 (枚方なぎさ)

阪上 哲郎 (槻の木)

桜井 佳奈 (高 石)

重松 一剛 (吹田東)

下岡 絵里 (東淀川)

鈴木 雄一郎 (日 新)

田井 伸二 (岸和田産業)

玉川 敬祐 (桜 和)

中村 愛美 (伯 太)

仁木 秀雄 (かわち野)

浜本 慎吾 (日 新)

原田 克志 (山 田)

藤井 翼 (枚 方)

藤森 洋弥 (日 新)

守谷 静香 (難波支援)

吉藤 友香 (河 南)

進行係

各高等学校テニス部顧問

進行補助員

各高等学校テニス部部員

大会日程（団体戦の部）

| | | |
|---------------|--------|----------------|
| 令和5年10月22日（日） | | 各学校（第一会場、第二会場） |
| 10月29日（日） | | 各学校（原則、第一会場） |
| 11月3日（金） | 予備日 | 各学校 |
| 11月5日（日） | 本戦QF～F | MTP北村 9:00開始 |
| 11月11日（土） | 予備日 | MTP北村 9:00開始 |

（備考）

- 大阪公立高等学校対抗テニス大会のベスト4は近畿公立高等学校対抗テニス大会の出場資格が与えられます。
- 近畿公立高等学校対抗テニス大会の日程
令和6年1月5日（金）・6日（土）
場所：MTP北村（大阪）

大会日程（個人戦の部）

| | | |
|---------------|-----|-------|
| 令和5年11月12日（日） | 予選 | 各学校 |
| 11月19日（日） | 予備日 | 各学校 |
| 11月23日（木） | 本戦 | MTP北村 |
| 11月26日（日） | 予備日 | MTP北村 |

（備考）

- 大阪公立高校テニス大会個人戦で上位の選手は近畿公立高等学校テニス大会個人の部の出場資格が与えられます。
- 近畿公立高等学校テニス大会個人の部の日程
令和6年2月3日（土） 予備日2月4日（日）
場所 MTP北村（大阪）

団体戦の部 大会注意事項

1. 試合会場について
 - ・指定された日程・会場に従って、すみやかに試合を進めること。
 - ・各チームは、指定された開始時間の15分前までに、引率顧問と試合に出場する選手全員が更衣を済ませ、試合ができる状態で出席を届けること。顧問・教職員の引率がない場合は失格となる。
2. 試合の順序、方法について
 - ・各学校1チーム、複2・単3の5ポイントの団体戦とする。
 - ・単No.1、複No.1、単No.2、複No.2、単No.3の順に試合を行うが、進行の都合上、試合を並行して行うことがある。会場の係の指示に従うこと。
 - ・学校会場では5ポイントを全部行うことを原則とするが、天候、日没などの理由により勝敗が決まった時点でうち切ることもある。
3. 出場メンバーおよびオーダーについて
 - ・オーダー用紙をHPよりダウンロードし各校で印刷し、会場に持ってくること。
 - ・登録選手およびその順位は本要項掲載の名簿による。
 - ・オーダーについては、登録メンバー内において、各対抗ごとに単・複組み替えてもよい。ただし、単については、登録順位の上位のものを、複についてはペアの登録順位の合計が上位の組を、合計も同じ場合は

登録上位の選手を含む組を、オーダーの上位に置かなければならない。

- ・同一人が単・複を兼ねて出場できない。
- ・オーダー用紙に記入されたメンバー以外の出場は認めない。
- ・本戦のQ F以降は対戦前にオーダー用紙を本部に提出し、オーダーの確認を受けること。予選においては本部に提出する必要はない。
- ・試合前に、コートに整列し、対戦校同士オーダー用紙の交換をし、選手を確認すること。
- ・相手チームのオーダーに疑義がある場合は直ちに確認すること。

※オーダーを間違った場合は次のように処理すること。

① 1試合も始めていない時点で間違いが発覚した場合は、正しいオーダーに組み直して試合を始める。

② 試合開始後に間違いが発覚した場合は、そのオーダーを有効とする。

(次の対戦がある場合は、正しいオーダーを提出)

4. 試合に際して

- ・試合球はダンロップオーストラリアンオープンを用いる。
- ・試合は1セットマッチ（6ゲームオールタイブレーク）である。
- ・コートに入れる人は、プレーヤー、レフェリー、ロービングアンパイア、~~シングルスの場合のみ各学校1面にボールパーソン1人~~。ベンチコーチとして1面に1人。
- ・ベンチコーチは顧問、監督のうちオーダー用紙に記入されている方、もしくは登録メンバーに限る。ベンチコーチはジャッジにクレームをつけてはならない。
- ・会場校は各校に可能な限り対戦前に練習時間を設定すること。
また、試合前のウォームアップは3分を超えてはならない（レフェリー・会場係の指示が別にある場合はそれに従うこと）。
- ・プレーヤーは、試合中に誰からもいかなる方法においてもアドバイスを受けてはならない。
また、何人もプレーヤーにアドバイスをしてはならない。エンドの交替時のみ、ベンチコーチからは可とする。
- ・この試合は、セットブレイク方式を採用しない（各セットの第1ゲームのサイドチェンジの休憩は認める。ベンチコーチからのアドバイスも認める）。
- ・応援は、他のコートへ迷惑がかからないようにする（必携p.21参照）。
- ・細かな規則については『テニスルールブック』に準ずる。規則・注意事項に関して、再三注意を受けても守らない場合は、失格とする。
- ・審判は、セルフジャッジとする（会場レフェリーが、オーバールールする事がある）。

5. 服装について

- ・服装は、全国高体連テニス専門部服装規定による。不適切なウェア（長ズボン、ロゴなど）は、更衣を求める。
更衣しなければ、失格することがある。靴は必ずテニスシューズのこと。
- ・試合中ラケットのガットが切れた場合、ラケットを交換してもいいし、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない（ストリングロゴは、禁止する）。

6. その他

- ・公営コートでは試合開始後、試合に出場している学校や個人がコートを借りて練習することは禁止する。
- ・会場へバイクや車で行くことは、選手はもちろん応援も含めて厳禁とする。
- ・各会場では、校舎内への立ち入りをいっさい禁止する。会場で器物破損、その他暴行を働いた場合は、その生徒の所属する学校を対象に処分する。試合において不正があった場合も同様とする。
- ・ゴミなどは各自持ち帰るなど、会場の美化に努め、決して会場校に迷惑をかけないように、最大限の協力をしなければならない。
- ・大会中の撮影行為について、次の2点に注意すること。
 - ① 大会会場において撮影する場合、必ず相手側にも了承を得るなどして、勝手に撮影をしない。
 - ② 了承を得て撮影された場合も、本人の許可なくSNSなどにあげる行為を禁止する。

7. 記録の報告について

各対抗で勝ったチームは、HPよりダウンロードし各校で印刷した結果報告用紙に結果を記入の上、会場校に提出すること。

ベスト8まで勝ち上がった学校は、高体連ホットラインhoukoku@osaka-hs-tennis.com まで連絡してください。

例 件名 公立大会男子結果

本文 ベスト8 大阪庭球高校

大阪庭球高校 宗方 仁



また、会場校は各対戦の勝者校が提出した結果報告書を、

〒565-0802 吹田市青葉台南16-1

大阪府立吹田東高等学校 高体連テニス部 重松 一剛 宛へ送付

※ 府立高校からはメール便でとどきます。

個人戦の部

男子 予選ブロック 48ブロック

女子 予選ブロック 48ブロック

個人戦の部 大会注意事項

1. 試合開始と進行

- ・本戦は午前9時、予選は午前9時15分より試合を開始する。
- ・試合はオーダーオブプレーにより、原則としてドロ番号順に進行する。
(前の試合が終了すれば、すぐに試合に入ること。5分以内に入らない場合は、失格することがある)
- ・ジャッジは、会場レフェリーが権限として行う。

2. 出席の届け出

- ・各会場とも試合開始時間の15分前(本戦8時45分 予選9時00分)までに、本人が更衣の上、大会運営本部デスクに出席を届け出る。届いていない場合は、棄権とみなし失格する。本戦は、顧問あるいは学校教職員と一緒に出席を届け出る。

3. 試合について

- ・使用球はYONEX ツアープラチナムを用いる。
- ・服装は、全国高体連テニス専門部服装規定による。不適切なウェア(長ズボン、ロゴなど)は、更衣を求める。更衣しなければ、失格することがある。靴は必ずテニスシューズのこと。
- ・コート内でのウォームアップはサービス4本とする(会場レフェリーの指示に従うこと)。
- ・審判はセルフジャッジとする。
- ・プレーは連続的に行われなければならない。M.T.Oは筋ケイレンでは認められない
- ・試合が終了すれば、勝者はすぐに結果を本部に報告すること(5分以内)。
- ・不適切なジャッジは、会場レフェリーが権限としてオーバーコールする。
- ・一人が連続して試合をしなければならないときの休憩はレフェリーが考慮、判断する。
- ・アウト、インの判定を巡って相手側コートへ行くことは認めない。(ローカルルール)

- ・試合中ラケットのガットが切れた場合、ラケットを交換してもいいし、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない（ストリングロゴは、禁止）。

4. その他

- ・試合において不正があった場合、また、器物破損などの暴行を働いた場合はその生徒の所属する学校を対象に処分を行う。
- ・レフェリーや会場の係りの指示・注意を守り、テニスプレーヤーにふさわしい行動をとること。
- ・JTAテニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽に努めること。
- ・大会中の撮影行為について、次の2点に注意すること。
 - ①大会会場において撮影する場合、必ず相手側にも了承を得るなどして、勝手に撮影をしない。
 - ②了承を得て撮影された場合も、本人の許可なくSNSなどにあげる行為を禁止する。

5. 記録の報告について

会場校は雨天などによる日程変更については、必ず解散前に高体連テニス部ホットライン(090-7095-1471)に連絡すること。

会場校は、結果を高体連ホットライン [houkoku@osaka-hs-tennis.com](mailto:hokoku@osaka-hs-tennis.com) まで連絡してください。

例 件名 公立個人男子結果
本文 BS15 .1 越前(青春学園)
BS16.16 丸尾(大杉高校)
(ブロック番号・ドロー番号・選手名・学校名)
会場 大阪西高校 宗方 仁

詳細報告は予選終了後、

〒565-0802 吹田市青葉台南16-1

大阪府立吹田東高等学校 高体連テニス部 重松 一剛 宛

※ 府立高校からはメール便でとどきます。

詳細報告：ドローに勝者とスコアを記入



※以上の報告がない場合、会場のコート提供ポイントは加算されない

大阪公立高校事務局のホットライン

090-7095-1471